

平成23年度第2回鳥取県日野地区連携・共同協議会（会議概要）確定版

日 時：平成24年1月17日（火）午後4時から5時20分まで

場 所：日野総合事務所大会議室

出席者：平井鳥取県知事、竹内江府町長（会長）、景山日野町長、増原日南町長

ほか鳥取県及び日野郡3町関係職員

1 あいさつ（要旨）

（竹内会長）

- ・議論をしっかりとしながら、一歩ずつ前へ進んでいく、実施をしていくことも必要ではないか。色々な課題もあるかと思うが、県道の除雪を町で、住民に一番身近なところで、しっかりと住民のご要望に応えていこうということで、試験という形を含めて現在実施中。そういうことをやりながら、次のステップに向かっての色々な議論を深めていければと思います。本当にこの日野郡がどうあるべきか、県と一体となって、郡民の皆さん、県民の皆さん、町民の皆さんに住民サービスが向上していくかという視点で議論していきたいと思います。日野郡は高齢化の中では、3町とも40パーセントを超える状況の中、そういう住民構成の中で、本当にどうあるべきかをしっかりと議論していきたいと思います。

（平井知事）

- ・私たちは、全国でも珍しいことでありますが、三つの町と県がお互いに共同化できることをしていこうというプラットフォーム（共通のモデル）を作ってやってみました。例えば障がい者の雇用で言えば、合わせて2500時間もの大きな雇用を実現することができました。さらに消費者行政も、のぼり旗は素晴らしいことだと思います。3町の皆様には県道の除雪を今年はお願いをしてみようということから始めることに致しました。この雪に対する苦情は大変に多いのも実情であります。今年は、その辺の窓口が一本化されることになりましたので、各町の機動的な力で県の方も含めて対処して頂くということで、恐らく住民サービスとしては向上しているのではないかと思います。今年も大きな街道筋は県の方でさせて頂いておりますし、また来年度に向けて維持管理などの新しいテーマがあろうかと思います。ぜひ共同化できるところは共同化していくことで、住民サービスの向上を図り、また3町と県がトータルでコストダウンができるようなことを目指していければ非常に効果が表れるのではないかと思います。全国どこでもまだできていないことがこのほかにいっぱいあろうかと思いますので、皆さんの色々なお力と行動を頂きまして、私どもも頑張っってやっていきたいと思います。

2 会議録署名委員の指名

竹内会長が「日野町の景山町長」、「日南町の増原町長」2名を指名。

3 幹事長報告

（中村幹事長）

- ・重点項目の除雪につきましては、23年度から委託ができる形になりましたし、維持管理につきましては、来年度から委託をしようという方向性であります。監査委員における事務局の在り方につきましては、関係者の皆さん或いは鳥取県の代表監査委員にもお越し頂いて研修会をして頂くなど、或いは事務局の皆さんも各町のレベルをどう捉えるかといった調査をして頂きながら進めてまいっているところであります。来年度は農林関係の分野も方向性を考えてみたいと思っております。色々な事業を展開するに当たり検証もしながら、場合によっては整理していかなければならない項目も出てきようかと思います。

4 報告

- （1）平成23年度事業実施状況について
- （2）平成23年度収支の状況について

事務局の高田事務長から資料により説明。執行残額は、3月の幹事会で報告し各町、県に返納予定。

5 議事

- (1) 第1号議案 平成24年度事業計画(案)について
- (2) 第2号議案 平成24年度歳入歳出予算(案)について
- (3) 第3号議案 平成24年度負担金(案)について
- (4) 第4号議案 重点項目「道路の維持管理・除雪」について
- (5) 第5号議案 重点項目「監査委員事務局の共同設置」について
事務局の高田事務長及び各部会長から資料により説明。
(各議案承認。)

6 意見概要

<庶務チーム(図書館等施設の共同利用、共同情報発信等)>

(増原町長)

- ・例として、図書館に電話で申し込むと郵送で図書を家に送ってもらう、それをヘルパーさんに託けて図書館に返してもらうというシステムは高齢化が進んでいる町には非常に良いと思います。
- ・情報というのはどうしても町で区切られていることがあり、県だけでなく市町村も努力してスケールメリットを生かしていかないといけないと思います、是非ともどの町も協力しますので県も宜しく進めていただきたい。

(景山町長)

- ・ホームページも必要かもしれませんが、町広報を皆さんがよく見られておりますので、検討してみてくださいと思います。

(平井知事)

- ・図書館の例が出てまいりましたけれども、色々イベントを共同で実施するとか、PRするとかは可能でありますし、是非考えて頂ければと思います。

<農林業>

(竹内会長)

- ・農林業という部分が、日野郡は農林業が一番の産業でございまして、その部分が今までの議論からはずれていたのかなと、大事なところを見逃していたのかなというように思います。今後しっかり進める必要があるし、規約に従っての組織ということも必要ではないかというように思ったところでございます。

(平井知事)

- ・新しい共同化のテーマとして考えたかどうかということは賛成でございます。
何でしたら、私どもの方から案を出させて頂いて、こういう抜本的な考え方もあるのではないかと、たたき台を示させて頂いてもよいと思います。
例えば、農地を流動化させなければいけませんね。今TPPの問題で、農業をどうやってこれから強く守っていくか、大規模農家20ヘクタールだとか、そうした目標化も出てくるだろうと思いますが、新年度の国の方針の中にも何項目かうたわれていることがございます。本気でやろうと思えば、一つの町の中で収まるかどうかということがございます。
農地の流動化を進めるのであれば、農業委員会ごとにやるのがよいのか、みんなで東ねてやって、色々受け皿になり得る公的な機関というのがありますし、この地域の農林水産業の足腰を強くしていくというような案を具体的に作りながら考えてみるというのは大変に面白い提案ではないかと思えます。

<商工関係>

(平井知事)

- ・商工関係も共同化していけることもあるのではという気が致します。特に施策は、色々な貸付制度だとか応援の仕組みがあり、県は県で最近メニューが増えてきております。それを一つにまとめて、個々の企業さんにご利用頂かなければいけない、商工会とも一緒に共同化の基盤を作っていくというのはあるのかなと思えます。

<重点項目：道路維持・除雪等>

(竹内会長)

- ・除雪は実際に動いております。問題点や課題や良かった点、これを整理していく必要があるかと思いません。

(景山町長)

- ・除雪につきましては先ず検証をやって頂きたい、やるというのを前提にするのではなく、郡民のために本当にサービス向上につながっていたら引き続きやっていかなくてはならないと思っております。道路の維持管理につきましては異論がありまして、本来、道庁管理者がはっきりしておるわけですから、きちんと道路管理者の責任においてやって頂くというのが第一ではないかと思っております。

(竹内会長)

- ・維持管理の場合、地元の町、町民なり町の職員が一番先に目につく、そういう部分は、できる範囲で町が対応できたらと思います。何とか町内で仕事を作って雇用をきちんとしていきたいという思いを含めながら実施してみたいという思いです。また、ハードと合わせてソフト面の技術の研修を県が主体になって、しっかりと行って頂きながら実証実験的な対応をしてみたい。

(平井知事)

- ・一つのモデルをこの日野から考え実証的に評価をして頂いて、現場に合ったシステムを考えていけばよいのではないかと思います。維持管理について共同化をするというようなことを是非検討して頂いてはどうかと思いません。

(増原町長)

- ・町民なり通行される方々にとっては町道であろうと県道であろうと関係ないわけですし、何かトラブルがあった時には、役場に電話をされると、そういう意味で非常に交通整理ができたと思っております。歩道の除雪について歩道除雪の機械を県から貸与頂きましたが、子どもたちの通学、特に高齢者が道路を歩くことは危ないので、非常に良かったと思っております。

<重点項目：監査>

(増原町長)

- ・監査自体の明確性と責任感というようなところが大事だと思います。3町で勉強をしながら監査委員なり監査体制の強化を図っていくというようなことを先ず主眼にしていく方がよいと思います。事務局の統合ありき、事務局職員を置くのだというようなことよりも、先ず3町でしっかり監査して頂く、それから我々もしっかり監査に対する対応をしていくのがよいと思います。

(景山町長)

- ・増原町長のご意見、全く私も同感。増原町長がおっしゃるようにレベルアップを先ず図ることが喫緊の課題であると思いますので、是非ともその辺りを24年度継続して頂ければと思います。

(竹内会長)

- ・24年度にそういう方向で事業の検討を進めてください。

<日野郡の高等教育>

(増原町長)

- 法定協の議題となはなりません、日野郡の高等教育というものを今後考えていく必要があります。この会でも例えば郡民の方々にシンポジウムの呼びかけや研修会等が必要な場面も出てくるかと思います。

(平井知事)

- 日野高校の問題は教育委員会にも今日の話の趣旨を伝え議論していきたい。
- 個人的な気持ではスクラム教育（小中一元化等）をさらにつなげていくもう一つの対象として高校があると、地元の日野郡らしい人材育成のあり方として、この日野高校を取り込んで人を育てていくという体制ができるのであれば米子に通わなくてもよいと思う子どもも増えてくると思います。

<日野総合事務所の在り方>

(景山町長)

- 日野総合事務所の権限をどんどん基礎自治体である町に移すと日野総合事務所の役割が小さくなると思います。県の地方機関として頑張っていたきたいという強い思いがあります。
- 鳥取の会議開催を、中部で開催していただけると助かります。

(竹内会長)

- 県と町の連携を一生懸命考え、県の人材、日野郡で町と一体化して生かしていただくことが一番重要だと思います。

(平井知事)

- 権限移譲を進めるということは、一番身近な住民の窓口である市町村に一元化されていくのは大きな地方分権の流れだと思います。
- 人材をどう組み合わせが一番良いパフォーマンスをそれぞれの地域で行政全体で発揮できるかであり、新しい行政スタイルがあっても良いと思います。その際に大切なのは住民であり住民の視点で、協議会を開いて話し合いを行い、現場に近いところでやろうということを作っていけばいいと思います。また、意思決定の仕組みがゆがまないようにすることも大きな要素だと思います。